

1 趣 旨

- 第4期海洋基本計画の「総合的な海洋の安全保障」の方針において、安全保障分野における人材確保・育成が喫緊の課題であるとして、国民に向けた発信を積極的に実施する旨述べている。
- 海洋の安全保障を巡る問題について、海上自衛隊や海上保安庁等にて勤務する現場関係者の協力を得て、高等教育機関（大学・高等専門学校等）を対象とした出前講義を行うことで、学生に海洋分野に関心を持つきっかけを作為する。
- 本講義を聴講した学生が、実情や経験を元にした知識を得ることで、海洋分野に高い関心を寄せ、将来の勉強や進路決定等に役立ててもらうことを目的とする。

2 講義内容

一例として、以下のような講義内容をニーズに応じて企画

- 第4期海洋基本計画の紹介（海洋事務局）
- 海洋安全保障に関する講義（海上自衛隊、海上保安庁等）
- 質疑応答

※講義終了後にはアンケートを実施する。

3 実 績

令和6年1月11日 国土館大学（海洋事務局、海上自衛隊合同）

※今後も実施予定

4 その他

- 東京都内の教育機関にて実績をつくり、徐々に実施地域を拡大する。
- 海上自衛隊、海上保安庁の講義の講師は、制服を着用する。
- 講師のほか、関係府省の職員や防衛省地方協力本部の隊員等が同席することもある。
- 出前講義を希望する方は、個別に内閣府総合海洋政策推進事務局までご連絡いただきたい。



国土館大学における講義の様子

国土館大で海洋安保講義

【海幕】海幕募集推進室は1月11日、内閣府総合海洋政策推進事務局と初めて連携し、国土館大学世田谷キャンパス（東京都世田谷区）で海洋安全保障の講義を行った。

総合海洋政策推進事務局は、洋上風力発電の利用促進や自律型無人探査機（AUV）の戦略策定など、海洋基本法に則って海洋に関する政策の推進を担っている。今回の講義は、海上自衛隊から同事務局に向向している宮田裕二（二佐）に、海幕募集推進室が取り組んでいる大学生へのアプローチ施策を紹介したところ、同事務局から連

内閣府総合海洋政策推進事務局と初連携 海幕募集推進室

携の提案があり、実現した。

講義は柴田徳光専任講師（外交史専門）のクラスで行われ、当日は約40人の大学生が受講した。前半は同事務局の谷口礼史参事官が「我が国の海洋をめぐる状況と海洋基本計画について」と題し、我が国における海洋の重要性を説きつつ、海洋基本計画の概要をはじめ、海洋開発や海洋関連技術などの具体的な施策について説明した。

後半は、海幕募集推進室（当時）の岡山幸弘三佐がシーパワーに関して講義。海上自衛官としての知識や経験を織り交ぜながら分かりやすく解説した。

学生からは「海洋開発重点戦略の内容がとても興味深かった」「海の重要性、利便性を知ることができ、海が『世界の公共財』という意味を改めて理解した」といった感想が寄せられ、海洋政策や海上自衛隊への関心が高まった様子だった。

海幕募集推進室では「海洋人材の育成は、四方を海に囲まれた我が国にとって極めて重要な取り組みだ。募集の観点からも海上自衛官を志願する若者の増加に長期的かつ間接的に寄与するものと考えている。若い世代に海や船に関心を持ってもらうため、海上保安庁をはじめ海洋政策に関わるさまざまな組織や機関等と連携し、海の魅力をPRしていきたい」としている。



学生からの質問を受ける岡山三佐（前方演台）と谷口参事官（その左）11月11日、国土館大学世田谷キャンパス（海幕提供）

（令和6年2月22朝雲新聞）

朝雲新聞社HPにおいても同記事を掲載

<https://www.asagumo-news.com/homepage/htdocs/news/newsflash/202402/240222/24022203.html>